

日ASEAN船員共同養成プログラム

背景

- ◇我が国海外航海運は外国人船員に大きく依存→約94%が**ASEAN諸国を中心とするアジア人船員**
- ◇海上荷動きの増大による世界的な船員不足→2015年には、△2.7万人の見込み
- ◇高い技術を持つ人材の育成に関する国際的な要請

目的

優秀な船員の確保・育成
外航海運の安全性向上
海洋環境保護への寄与
国際競争力の強化

プログラム

ASEAN地域の相互知見
活用・連携による
共同養成プロジェクト

ASEAN諸国の現状

上級船員不足
貧弱な船員教育機関
乗船実習機会の不足

現在検討中のプロジェクト

ASEAN各国とバイで連携

- 乗船訓練環境整備プロジェクト…乗船訓練機会の拡大(練習船教育の導入等)
- 船員教育向上プロジェクト…人的ネットワークの構築の推進(人的交流、派遣等)等
- 船員関係情報発信プロジェクト…船員関係情報の発信(奨学金制度、有益な政策等)

効果

我が国のみならず、**ASEAN地域全体**での
海上輸送の安全性・安定性向上、国際競争力の確保、上級船員の安定供給